

Hello

2001

9

No.222

friends

KANAGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
NEWSLETTER

(財) 神奈川国際交流協会 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーむ ぷらざ) 1階 045-896-2626



第10回 全国ボランティア フェスティバル かながわ

at

あーむ ぷらざ

9月23日(日)



あーむ ぷらざ

(JR根岸線「本郷台」駅より徒歩3分)

あーむ ぷらざ会場の プログラム

交流のひろば(入場自由)

国際協力ボランティアコーナー

10:00~15:00

いろいろな国際協力活動を紹介するパネル
展や、ワークショップ「何だろう地雷教室」
など

写真展「 Bangladesh のストリート・
チルドレン」

10:00~15:00

Bangladesh、ネパールの手工芸品の販
売も行います。

映画『地雷を踏んだらサヨウナラ』

13:30~15:20

1972年、激しい内戦下のカンボジアで、
アンコールワットの写真を撮ることに命を
かけた写真家、一ノ瀬泰造の生涯。

主演 浅野忠信、監督 五十嵐匠

世界のおやつ

11:00~14:00(売切れ次第終了)

中国、フィリピン、Bangladesh、ペルー
のおやつなどを販売します。



ボランティア国際年(2
ページ下欄参照)の今年、
「第10回全国ボランティア
フェスティバル」が、9月22
日(土)・23日(日)の両日、神
奈川で開催されます。毎年、
全国の都道府県を順にまわ
り、それぞれの開催地の特色
を生かして行われているこの
フェスティバルですが、神奈
川大会の大きな特色の一つ
は、「国際」です。過去の大会
では、実施されたプログラ
ムのほとんどが、「福祉」の
分野のボランティア活動に関
するものでしたが、今回は、
それに加えて、「国際交流・
国際協力」「多文化共生とコ
ミュニティ」などのテーマに
も力点が置かれています。

あーむ ぷらざ 会場では、9
月23日(日)に

「国際協力」
「シニアの国際ボランティア」
「地球市民学習」
などをキー・ワードに、いろ
いろなプログラムが実施され
ます。

映画の上映や、各国のお菓子の
販売など、気軽に楽しめるコー
ナーも用意されていますので、
ぜひ、ご来場ください。



映画『地雷を踏んだらサヨウナラ』より



あーびふさご 会場のプログラム 9月23日(日)

「かながわ大会特別企画」及び「テーマ別のつどい」は事前の申込みが必要です。お席に若干の余裕があります。お申し込みは、神奈川県国際交流協会・民際協力課 (TEL 045-896-2626) まで。

かながわ大会特別企画 (事前申込み制)

地球のステージ 13:00~15:00

世界各地の難民キャンプやスラム等で、ボランティアとして医療活動を行っている桑山紀彦さんが、学生時代から撮りためた写真やビデオ映像を使い、各国の様子を紹介しながら、ギターとバイオリンを演奏し、歌うステージ。

シンポジウム「シニアが始める地球規模のボランティア」13:00~15:00
シニアになってから始める、シニアだからこそできる、地域から始める地球規模のボランティアを考えます。

テーマ別のつどい (事前申込み制、有料)

10:00~12:00 講演「年金風来坊 シゲさんの地球見聞録」

13:00~15:00 シンポジウム「先住民族・少数民族 - 開発と人権侵害」

10:00~12:00 講演・ワークショップ「お買い物で国際協力“フェア・トレード”の社会貢献」

10:00~12:00 ワークショップ「新・貿易ゲーム」

他の会場のご案内

パシフィコ横浜 (9/22・23)

J R 横浜東北線・東急東横線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅徒歩15分
「不登校」「傾聴ボランティア」「福祉教育」「ボランティアコーディネート」など、幅広いテーマでいろいろなプログラムが展開されます。

横浜ラポール (9/23)

J R 横浜線・横浜市営地下鉄「新横浜」駅徒歩15分
「障害者とスポーツ・文化」をメインテーマに、パラリンピック選手、成田真由美さんを迎えての「バリアフリートーク」などのプログラムが行われます。

川崎市国際交流センター (9/23)

東急東横線「元住吉」駅徒歩10分
「多文化共生とコミュニティ」をメインテーマに、「識字学級から見える外国人市民と日本」「多文化子ども交流」などのプログラムが行われます。

上記3会場について詳しくは、ボランティアフェスティバル実行委員会事務局
(045-312-1121 内線3246~50) までお問い合わせください。

2001年はボランティア国際年！！

1997年11月20日、第52回国際連合総会は、日本の提案に基づき、123カ国の賛同(共同提案国)を得て、2001年を「ボランティア国際年(IYV)」(International Year of Volunteers)とすることを満場一致で採択しました。

各加盟国や組織に対して、「ボランティア国際年」が目指すものとして、次の4項目を掲げています。

- (1) ボランティア活動に対する理解を深めること (recognition)
- (2) ボランティアへの参加が促進される環境を整備すること (facilitation)
- (3) ボランティアのネットワークを広げること (networking)
- (4) ボランティア活動を促進すること (promotion)

21世紀最初の年に「新しい世紀の扉を開く - 物の豊かさから、心の豊かさへ」をテーマに、ボランティア活動の推進、ネットワークづくりが、世界各地で展開されています。



地域の国際化を進める4つの“協働事業”がスタート！

神奈川県国際交流協会では、今年度からの新しい試みとして、県内のNGO、市民・学生グループ等から「地域の国際化」や「地球市民学習」などをテーマとしたプロジェクトの企画を募集し、協働で実施しています。今回は7件の応募があり、そのうち4つのプロジェクトを今年度の協働事業として位置づけ、協力することになりました。

企画提案団体と国際交流協会が、互いに情報、ノウハウを出し合い、事業のよりいっそうの充実に向けてミーティングを重ねています。初めての試みだけに、互いに戸惑うこともありますが、たくさんの新しい出会いが生まれ、大きな可能性を感じさせてくれます。イベント終了後の評価など、今後の方向性についての話し合いも共に行い、神奈川の地域の国際化を進める活動に、じっくり取り組んでいきたいと考えています。

今年度の協働事業

多文化ふれあいキャンプ(写真)
7月下旬に実施済み



(提案団体：多文化ネットかながわ)
小学校4年～中学校3年のニューカマー及び日本の子どもたち30名を対象として、仲間作り、エンパワメントのための2泊3日のキャンプを実施。

チャリティ・イベント 「ドラマティック・コラボレーション 天空」

(提案団体：アジアの風21)
ネパールと日本のアーティストの共演によるコンサート及びファッション・ショー。ネパールを紹介する写真展やフェアトレード商品の販売も行い、収益は、ネパールのNGO支援に充てる。

多文化共生を旨とする交流の場づくり “エスニック・キャンプ”

8月中旬に実施済み
(提案団体：Ethnic JAPAN)

外国にルーツを持つ青少年と日本人の青少年が出会い、語り話を聴き、自分を見つめ直す、解放の場としてのキャンプを実施する。約100名が参加。

外国籍親子を支援するための研修

(提案団体：地域サポート 虹)
外国籍女性の地域での育児をめぐるニーズを把握し、グループや関連機関がつながりながら、自己研修・情報交換を行う。

やってみよう、新・貿易ゲーム！

「地球市民学習」の優れたワークショップ(参加体験型学習)教材として知られる『貿易ゲーム』が新しくなりました。

このワークショップは、「貿易」を擬似体験することによって世界経済の基本的な仕組みについて理解し、自由貿易や経済のグローバル化が引き起こすさまざまな問題に気づき、南北格差や環境問題の解決に向けて、国際協力や私たち一人一人の行動のあり方について考えることをねらいとしています。

ゲームでは、3～5人のグループが1つの“国”になり、ハサミや鉛筆などの道具と紙を使って“製品”を作り、“マーケット”で売って収入を得ます。但し、最初に渡される道具はグループによって差があるため、ハサミや定規の貸し借りや、紙と道具の交換が必要になります。

ゲーム終了後、取引の過程で起こったことからについて話し合うことで、市場経済の仕組みや南北格差、援助について考えます。

神奈川県国際交流協会では、1995年に発行した『貿易ゲーム(日本語版)』の内容を「基本編」として生かしながら、「IT革命」「企業の海外進出」「累積債務」などの今日的な課題を「応用編」として盛り込み、『新・貿易ゲーム』を制作しまし

た。例えば「IT革命」では、「コンピュータ」(情報通信網)を表す「箱」を持っているグループだけに「メール」で最新の情報が知られる、といったアレンジが加わります。

ゲームの対象年齢は、小学校高学年から大人まで。12～40人で行うことができます。



テキストを販売しています

『新・貿易ゲーム』のテキスト(A4版、24頁)をご希望の方は、送料と合わせ、960円(協会会員：760円)を郵便振替でお送りください。

振替口座 00240-0-2675
(財)神奈川県国際交流協会

郵便振替用紙の「通信欄」に、「『新・貿易ゲーム』 冊希望」と明記してください。

講師をご紹介します

神奈川県国際交流協会ではこの『新・貿易ゲーム』の講師を、学校や社会教育施設などへ紹介、派遣しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

一度、体験してみたいという方は...

『新・貿易ゲーム』は、9月23日のボランティアフェスティバル(2頁参照)や、10月から始まる「まなびの工具箱」(4頁参照)の中でも行われます。ぜひ、ご参加ください。

地球市民講座

A「身近な多文化を撮ろう」、B「非暴力をまなぶ」
のはじまり、はじまりー

この地球市民講座は、地球市民プラザが開館して以来、地球市民として私たちが生きていくうえで求められる「知」をさまざまな形で提供してきました。今年からは協会がこの事業の委託を受け、協会の特色を十分に生かした講座として新たに出発することになりました。さまざまな知識をただ吸収することから一歩踏み出して、応答し、対話し、あるいは具体的なものを創る作業などをとおして、地球市民としての生き方を模索していく講座にしたいと考えます。楽しい学びの実験の場にあなただけお越しください。

< 地球市民講座 A >

「身近な多文化を撮ろう」

～カメラをもって街に出よう！！～

私たちの生活世界には、どのような「多文化」が埋め込まれているのでしょうか。この講座は、「カメラアイ」というもう一つの眼を通して、「身近な多文化」を記録してみようという試みです。写真家、現職の新聞記者、国際交流協会職員など多彩なゲストをお招きします。

1. ワークショップ：「多文化の街を撮るとのこと」
～大阪の街でカメラを見たこと～
2. フィールドワーク、作品撮影
3. 作品講評
4. ワークショップ「多文化をよむ」
5. ワークショップ「多文化の撮り方」
6. フィールドワーク
7. 振り返り、作品講評

日程 11月18日(日)～12月16日(日)の毎週日曜日
場所 ありどろび555 ワークショップルームなど
参加費 3,000円(全5回通しの参加費)

< 地球市民講座 B >

「非暴力をまなぶ」

～暴力を少なくする業を身につけよう！！～

私たちの生活世界には、どのような「暴力」が埋め込まれているのでしょうか。この講座は、地球規模で、地域社会で、家庭で、会社で、集団のなかで、「暴力」がどのように働いているのかを学びます。そして、そうした「学び」を、どうしたら日常生活に根深く埋め込まれているそうした「暴力」に気づき、具体的に「暴力」を減らすための業(ワザ)、技術につないでいくことを目指します。「非暴力」のトレーナー、フリースペースをつくってしまった人、大学の先生など多彩なゲストにお招きします。

1. ワークショップ：「非暴力をまなぶ PART 1」
2. レクチャー：「グローバリズムと暴力」
3. 演劇鑑賞とワークショップ：「いじめを考える」
4. 車座とーく：「あなたの居場所はどこですか？」
5. ワークショップ「非暴力をまなぶ PART 2」

日程 11月10日(土)～12月15日(土)の毎週土曜日
(ただし、11月24日は休み)

場所 ありどろび555 ワークショップルームなど
参加費 3,000円(全5回通しの参加費)

主催 県立地球市民かながわプラザ 企画実施 (財)神奈川県国際交流協会
プログラムの内容は変更になる可能性があります。

地球市民学習リーダーセミナー「まなびの道具箱」(全8回)

「総合的な学習の時間」の2002年春のスタートを前に、開発教育、環境教育、人権教育、ジェンダー教育、平和教育などさまざまな分野を含めた「地球市民教育」を広く紹介し、実践に必要な情報と具体的なノウハウを提供します。自分自身が参加し、感じ、学ぶことで得る「道具箱」を教室に持ち帰ってみませんか。

対象 教員、社会教育関係者、NGO関係者など
日程 10月～2002年3月 土曜日
時間 14:00～16:30
場所 ありどろび555 1階・会議室ほか
(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)
定員 30名(申込み先着順)
参加費 無料
申込み 参加する回 氏名(ふりがな) 所属(学校名や団体名) 連絡先(電話、FAX、Eメール)をすべて明記して、電話/FAX/Eメールでお申し込みください。

主催 県立地球市民かながわプラザ
企画実施 (財)神奈川県国際交流協会
協力 かながわ地球市民教育ネットワーク

「地球市民学習入門」10月13日 「地球市民学習」とは何か、その理念と課題について学びながら、参加型ワークショップを体験します。 講師 湯本浩之(開発教育協議会)	「エコ・ダイエット～環境にやさしい食生活を考える」1月19日 日本の今と昔の食生活を比べて環境を考える「食べ物ショッピング今昔」の活動を体験し、日頃の食生活を振り返り地球環境への負荷や環境容量の問題を考えます。 進行役 嵯峨創平(都市環境教育研究会)
「新・貿易ゲーム」11月17日 「貿易」を疑似体験することを通じて南北問題について学ぶ「貿易ゲーム」に今日の内容を盛り込み、この夏に完成したばかりの教材「新・貿易ゲーム」を体験します。「貿易」のゲームで得たお金を「国づくり」のためにどのように使うかまで考えます。 進行役 綿谷亜希、田中祥一(開発教育協議会「新・貿易ゲーム」作成チーム)	「カレーから見える世界の食と人間」2月9日 身近なカレーを通して異文化理解や食生活への主体的なかかわりを促す教材「カレーから見える世界の食と人間」の視点や具体的なカリキュラムを学びます。 発表者 スーツケース総合学習教材開発研究会・中山京子ほか
「いじめの問題を考える演劇とワークショップ」12月1日 英国ロンドンを中心に活動している演劇教育のプロ劇団タイ・ツアーズの来日公演。日本と英国の異なる文化から生まれた言語や手法やアートを使い「いじめ」をテーマに取り上げた演劇作品「2B(トゥー・ビー・ワン)」を鑑賞・体験し、「いじめ」や「差別」を考える演劇ワークショップに参加します。 公演&進行役 劇団タイ・ツアーズ	「『ちがいに』に耳をかたむける」(仮題) 2月23日 日本人と外国人、女と男、子どもと大人、わたしとあなた。いろんなちがいがあって、いろんな人がいる。でも、もしかしたら「ちがいに」をあたりまえだと思ひ込みすぎているかもしれません。じっくりと「ちがいに」に耳をかたむけるワークショップを体験します。 進行役 朴 和美(翻訳家)
「地球の仲間たち～フォトランゲージ」12月15日 世界の子どもの暮らしや考え方を写真と説明を通して知り、世界を身近に感じさせるとともに自分とのつながりを考えさせる教材「地球の仲間たち」を使ったワークショップを体験します。 進行役 白井香里(開発教育を考える会)	「学校・地域・NGOが一緒につくる地球市民学習」3月9日 学校が、NGOや地域の外部講師と協力しながら授業をつくっていく方法を、いくつかの事例を参考にしながら参加者同士で考えていくフォーラムです。 発題者 NGO「地球の木」ほか

プログラムの内容は、変更になる可能性があります。

秋期英会話講座 受講者募集

英語

世界のこと、日本のこと、日常生活のことなどを、より多くの人たちと話せるようになることを目標とする英会話講座です。神奈川県友好姉妹州の米国メリーランド州から招へいた専任講師が講座を担当します。楽しい雰囲気の中で英会話を学びませんか。

申込み受付日時

昼クラス希望の方 10月6日(土)午前10時
夜クラス希望の方 10月6日(土)午後2時

クラス分けのための簡単なテストを行ないますので、電話予約のうえ、上記日時にお越し下さい。筆記用具と受講料等をご持参下さい。申込み受付にはテストの時間を含めて約2時間かかります。

申込み希望者が各クラスの定員を超えた場合は抽選となります。定員に満たない場合は、10月13日(土)に追加受付を行ないますので10月7日以降にお問合せください。

対象：18歳以上の方

定員：各クラス17名(継続受講者を含みます)

費用：受講料 39,900円(消費税込み)
協会年会費 3,000円(会員の方は不要)
教材費 2,800円(上級)1,600円(中級)2,200円(初級)

費用は申込み時に一括でお支払いいただきます。お支払いいただいた費用は、払い戻しできませんのでご了承ください。

場所：神奈川県国際交流協会・研修室
(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分・
あーだ 355 1階)

講座内容

講師：Ms.Mary Elizabeth Nitsch (メリーランド州から招へいた専任講師)

日程：10月19日～2002年3月16日
(週1回90分、全18回)

クラス

Aクラス(上級)

社会時事全般を題材にした話し合いが中心の応用会話クラス

Bクラス(中級)

英語で日常の簡単な受け答えができる方の日常実用会話上達クラス

Cクラス(初級/水曜・昼クラス)

英語は少し聞き取れるが、あまり話せない方のクラス

Cクラス(初級/金曜・夜クラス)

英語の聞き取りが苦手、基礎から学習したい方のクラス

講座日程

	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
昼のクラス 13:30～15:00	C (初級)	B (中級)	A (上級)	A (上級)
夜のクラス 18:20～19:50	B (中級)	A (上級)	C (初級)	

講師紹介：メリー・エリザベス・ニッチ
(愛称 メンディ)
ジョージア州サバンナ生まれ。大学院で英語を母語としない人への英語教授法

を学び、大学では人文学を専攻。昨年9月より協会の英会話講師。英語指導歴として、米国國務省派遣によるドミニカ共和国文化研究所の英語教授研究員、ボルチモアやエクアドルの公立中学校での英語教師など。日本の温泉に興味があり、食べることに音楽が大好きな、周りの人を元気づけてくれる明るい先生です。

ベトナム語

初級ベトナム語講座 受講者募集

文法はそれほど難しくはありません。学習のポイントは耳と口で「音調」を憶えること。簡単な会話ができるようになることを目標とする講座です。

日程：10月12日～2002年1月18日、
毎週金曜日18時30分～20時(90分)
全12回

場所：あーだ 355 1階研修室
(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)

講師：ダン・タン・ファットさん
(かながわベトナム親善協会)

対象・定員：ベトナム語を少し学習したことがある方、15名(はじめて学ぶ方も大丈夫です)

受講料：26,250円(教材費・消費税込み)
申込締切：10月10日(水)

地球市民講座「まなびの道具箱」、英会話講座/ベトナム語講座/日本語講座の問合せ・申込みは、次の電話/ファックス/電子メールへ
TEL:045-896-2626、FAX:045-896-2945、E-MAIL:kikaku@k-i-a.or.jp URL:http://www.k-i-a.or.jp

日本語講座 秋の受講者募集

はじめて習う方から上級者まで4つのレベルのクラスがあります。日本語を勉強したい方をご存知でしたら、ぜひこの講座を紹介してください。

日程 10月20日～2002年3月20日(毎週土曜日、80分、全18回)ただし、11月23日、12月29日、1月5日の土曜日は休みです。

時間 9:30～10:50 入門クラス、初級クラス
11:00～12:20 中級クラス、上級クラス
クラス 入門クラス、初級クラス、中級クラス、上級クラスの4クラス
定員は各クラス10名まで ただし、5名に満たないクラスは開講しないことがあります。

日本語

場所 あーだ 355 1階 研修室
JR根岸線「本郷台」駅より徒歩3分

対象 15歳以上の方

費用 36,750円(消費税込み)

問合せ 企画情報課 (E-mail:kikaku@k-i-a.or.jp)

締め切り 10月18日(木)

クラス分けのための簡単なテストを行います。受講を希望する方は、都合の良い日にちと時間を電話で予約して、協会に来てください。ただし、月曜日は休みです。

英語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語での対応ができます。
お気軽にお電話(045-896-2626)ください。

がんばれ！ 草の根国際協力 「かながわ国際協力基金」 秋の助成申請募集

神奈川県国際交流協会では、10月1日から11月30日までの間、「かながわ国際協力基金」への助成申請を募集します。申請できるのは、次の～のいずれかに該当し、来年4月1日以降、1年の間に開始される事業です。

なお、緊急支援事業の助成申請については、随時受け付けていますので、お問い合わせください。

海外の開発途上地域での協力活動
外国籍県民等を対象とした、県内での協力活動
国際協力の担い手を育成する活動
NGOの組織強化や活動の充実を図るための活動

申請を希望される方は、「2001年度助成金申請の手引き」を参照し、受付期間内に申請書とその他の必要書類を提出してください。「申請の手引き」は、当協会の受付にあります。郵送をご希望の場合は、200円分の切手を貼ったA4サイズの返信用封筒をお送りください。

申請資格 県内に活動拠点があるか、主に県内で活動するNGO
助成上限 ～ 300万円 50万円
いずれも、助成対象経費から他の公的助成金の額を引いた金額の1/2まで

<http://www.k-i-a.or.jp/fund/index.html>から「かながわ国際協力基金」の情報がダウンロードできますので、ご利用下さい。

申請募集説明会にご参加ください

「かながわ国際協力基金」への助成申請に関する説明会を開催いたします。申請書の書き方や審査のポイントについてお話するほか、他の助成制度に関する情報提供なども行います。事前の申込みなどは必要ありませんので、気軽にご参加下さい

日時 10月14日(日) 13:00～15:30
場所 ありさ 355 1階 研修室 A
(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)
プログラム 13:00～14:30 説明会
14:30～15:30 個別相談

インド西部大地震NGO生活復興活動支援募金 寄付総額 4,069,189円

ご協力ありがとうございました。

今年の1月26日朝、インド西部グジャラート州を、阪神・淡路大地震を上回る巨大地震が襲いました。被害地域のグジャラート州(人口4,200万人)では、死者数20,086人、被災者数15,857,541人、家屋全壊約339,000戸、被害総額約46億米ドル(日本円約5,382億円)州政府のHPより、4月15日現在となっています。

インド西部大地震NGO生活復興活動支援募金を呼びかけました

この募金は、阪神淡路大震災などの経験から、現地の被災した人々が、緊急事態を脱して生活復興を担っていく重要な時期に、中・長期的な視点から被災者を力づけ、被災者の問題解決能力の向上をはかり、人々の意見を行政の復興計画などに反映できる現地のNGO活動を支援することを目的としています。募金には多方面からご協力をいただきました。

助成先NGOが決定

7月5日に、助成先を審議する配分委員会が開催され、次の2団体を支援することが決まりました。

1. DMI (Disaster Mitigation Institute 災害緩和研究所)
「災害を防ぐことは難しいが、その被害を最小限に食い止めることが大事」という考えのもとに活動をしてきました。ジェンダーや環境に配慮した住民主体の活動を進めています。

2. ASAG(アサグ Ahmedabad Study Action Group)
洪水の被災者を救援する活動から始まったNGOですが、今では開発の専門NGOとして中央政府の計画委員会に参加するなど、政府からも信頼を得て活動しています。

これらのNGOは、救援だけでなく、復興においても、きちんとした開発活動をおこない、住民主体の活動を推進しているNGOであるということが評価され助成先に選ばれました。

かながわ被災地NGO活動支援委員会

構成団体：地球の木、地球市民の会かながわ、ナマステの会グループ、わ、草の根援助運動マジカルチャイルドクラブ、FHCY、ネパリバザー、国際子ども権利センター、神奈川県、神奈川県国際交流協会

神奈川県国際交流協会(KIA)は

地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人とのつながりを大切にした「国際交流」「国際協力」を推進するさまざまな事業を展開しています。

あなたも会員になりませんか?

協会の活動を支える会員を募集しています。会員になると

協会が主催する各種催しや国際交流団体、NGOの催し情報、ボランティア情報を掲載した『Hello Friends』『サラダボウル』をお送りします。

会員の方を対象にした催しへご招待します。『エスニック・レストラン・マップ』をお送りします。

会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。

年会費：個人 3,000円から
団体 10,000円から

*会員になりたい方は、協会までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

協会が運営するありさ 355内の施設の利用時間は下記のとおりです。

情報フォーラム 9:00～20:00
(土曜・日曜日・祝日 9:00～17:00)
映像ライブラリー 9:00～17:00

*月曜日は休館日です。
(ただし、祝日は開館しています。)



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川県国際学生会館を運営しています。

各事業に関するお問い合わせは、

(財)神奈川県国際交流協会

045-896-2626 までどうぞ。

お詫びと訂正

7月号1面の文中で大和定住促進センターが1988年に閉所し9年間運営されていた旨記しましたが、1998年の閉所、19年間の運営の誤りです。お詫びして訂正いたします。

Hello
friends

2001年9月1日発行
第222号

発行 財団法人 神奈川県国際交流協会
〒247-0007
横浜市栄区小菅ケ谷一丁目2番1号
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階
045-896-2626 FAX.045-896-2945
URL: <http://www.k-i-a.or.jp>
E-mail: hello@k-i-a.or.jp
印刷 株式会社 佐藤印刷所

キヤラバン・サライイ
アメリカの映画監督、スティーブン・スピルバーグが自作について語るテレビ番組を見た。
小劇場風の会場。聴衆は映画製作を志望する若い人たち。皆、大御所の語りを中心に焼きつけんとしている様子が伝わってくる。
スピルバーグが喝采をもって迎えられる。聴衆へ謙虚にお辞儀をする。目が何ともいえず優しい。
ステージ上で、映画評論家らしき進行役が、スピルバーグと対話を始める。ウイットに富んだ語り口で、聴衆が沸く。スピルバーグも心地よい雰囲気の中に包まれている。
映画「ジョーズ」に話題が及んだ。鯨の模型が撮影途中に大破するアクシデントに見舞われたそう。映画会社の重役が撮影現場にやって来て、次のようなことを言ったそうである。
「今後、製作の継続が困難なら中止しなさい。お金の回収は私が考える。続けるならば、製作終了予定日を提示しなさい。判断は君に任せよう」と。
製作を続けた。そして、興行的に大成功を収めた。
感嘆した。
失敗していたらどうであったろう。有名なハリウッドの映画監督、ピリール・ワイルダーにして、触れたくない自作があることを率直に語った本を読んだことがある。
成功も失敗もない話が一番退屈なのかもしれない。
(管理・国連課 今泉 好夫)

*キヤラバン・サライイは、かつてシルクロードにあった陳腐宿。文化・情報の中継点となっていました。協会職員からのメッセージ発信の場となるよう名付けました。今回の機関紙の発行は11月上旬の予定です。(Hello Friendsは数奇月に発行しています。)